

**総合計画審議会専門部会での意見等対応調書
(生活基盤部会)**

■総合計画審議会専門部会での意見等対応調書

章	2 住み良さと自然が共生するまち				
節	(1) 環境との共生				
分野	②景観				
専門部会名	生活基盤部会				
No.	該当箇所	委員名	意見等の内容	意見等への対応案	担当課
1	施策(2)景観に配慮したまちづくりの推進	赤嶺部会長代理 (7/3)	・街路樹に関する記述があってもよいのでは。	【7/3専門部会での回答】 ・ご意見として承る。緑の基本計画で道路の緑化を推進することになっているが、街路樹については道路の分野にも、景観の分野にも入っていてもおかしくない。 ⇒ご意見を踏まえ、街路樹は、景観を構成する重要な要素であり、町の景観づくり基本計画、緑の基本計画には位置づけられているものの、本総合計画には記載がないので、施策(2)②の、沿道景観づくりのため、の後に、主要な道路の緑化、の文言を追加し、「沿道景観づくりのため、主要な道路の緑化、景観に配慮した大型広告物への指導、助言に努めます。」と修正する。 なお、道路の分野については、目指す方向で、町道の整備、維持管理の推進を記述しており、街路樹も道路付帯物であることから、ここで読み取ることとする。	都市計画
2	<目標指標> (2)景観に配慮したまちづくりの推進 (3)地域の特性を活かした景観の形成、保護	藤沼委員 (7/3)	・分かりやすい目標指標を設定すべき。景観緑肥の助成等具体的なものがあればそれを目標指標としてもよいのでは。	【7/3専門部会での回答】 ・目標指標の設定が不自然というご意見として受け取らせていただきたい。 ⇒ご意見を踏まえ、目標指標(2)(3)を以下のとおり修正する。 (2)景観に配慮したまちづくりの推進 ・目標指標名「音更らしい景観づくりに係る事業件数」、説明「官民連携による景観づくり事業件数」、「中間数値：1件(H26)」、「音更メロディライン事業を対象」、「目標数値：3件(H32)」 (3)地域の特性を活かした景観の形成、保護 ・目標指標名「音更らしい景観の形成、保護に関する事業件数」、説明「地域特性を活かした事業件数」、「中間数値：2件(H26)」、「駒場の白樺並木更新やひまわり種子助成を対象」、「目標数値：3件(H32)」	都市計画

■総合計画審議会専門部会での意見等対応調書

章	2 住み良さと自然が共生するまち				
節	(3) 快適な生活基盤				
分野	①道路				
専門部会名	生活基盤部会				
No.	該当箇所	委員名	意見等の内容	意見等への対応案	担当課
1	施策(3)町道の整備促進、維持補修③	大淵委員 (7/3)	・施策(3)③「ネットワーク化の促進」は何を意味しているのか。	【7/3専門部会での回答】 ・自転車、歩行者に関するネットワーク化とは、街路や高規格の道路の歩道、これらをつないでネットワーク化としようという考え方。 ⇒(補足)自転車、歩行者に関するネットワークとは、音更川の堤防を利用した自転車歩行者道であるチェリングロードや道道十勝川温泉帯広自転車道を活用して、街路などの広い幅員の歩道などをつなぐことでネットワーク化して、日常のレクリエーションや通学などの利用や、ジョギングなどの健康増進を図ることとしている。	都市計画課
2	国道について	目黒委員 (7/3)	・国道に関して、交通事故防止のため防護柵を国に要請したらどうか。実験的に自転車の通行帯を作ってはどうかということで提案したい。	【7/3専門部会での回答】 ・241号線は道路管理者が国なので、開発建設部に伝えることはできるが、ここで掲載するとすれば、交通安全対策として要請するということになるとどまると思う。 ⇒国道241号の道路管理者は国、帯広開発建設部になるので、このようなご意見を要請することは可能だが、総合計画においては、めざす方向、施策(2)①「国道241号の交通事故対策事業の早期完成を関係機関に要請します。」の中で読み取ることとしたい。	都市計画課
3	国道について	畠山委員 (7/3)	・無電柱化について、災害時、地震時など、安全性はどうか。また、予算的なものはどうか。	【7/3専門部会での回答】 ・無電柱化に関しては、道路管理者の国が実施する。手法は未定なので、これから設計されることになるかと思う。景観の面と、災害時の電柱倒壊による交通障害を防ぐことで都市防災が強化されるというメリットがある。電線を埋めることでのデメリットがあるのかもしれないが、未定の部分が多い。 ⇒(補足)予算的なご質問に対し、工法等が定まっていない中で、未定だが、今のところ町の負担は無いと聞いている。	都市計画課
4	目標指標について	藤沼委員 (7/3)	・目標指標の数値の根拠と、(4)の除排雪にはそれだけ力を入れるということか。	【7/3専門部会での回答】 ・(4)除排雪の推進で、60.9から72に上げる根拠だが、アンケートの満足度なので、除排雪を迅速的確に実施し満足いただくという目標。数字に確たる根拠はないが、根拠は必要かと思う。 ⇒再検討の結果、1,000人規模の町民アンケートをH24、H25に行っており、H24は63.5%、H25は58.5%と60%前後で推移しているが、除雪に関しては、その年の降雪量が影響することもあることから、実績値を参考としつつも、単純に7割程度の満足を得るということで、確たる根拠ではないが、H32の目標値を70%に修正する。	土木課

■総合計画審議会専門部会での意見等対応調書

章	2 住み良さと自然が共生するまち				
節	(3) 快適な生活基盤				
分野	①道路				
専門部会名	生活基盤部会				
No.	該当箇所	委員名	意見等の内容	意見等への対応案	担当課
5	除雪について	宇佐美委員 (7/3)	・個人的に音更は私が今まで住んできた中で、迅速で一番きれいだと思う。	【7/3専門部会での回答】 ・アンケートなので人の感じ方によるが、その他に、居住地が市街地か農村部かによっても、除排雪のスピードなどの違いがあると思う。音更の除雪は良いという声がありながら、一度雪が降って除雪すると100件200件の苦情が来る。そういう方からすればアンケートは、不満という回答になるのだと思う。 ⇒町道の除雪については、町全域を区域分けして、それぞれを業者に委託している。雪国の問題として、除雪業者が不足している中、運転手の技術、経験などにより作業等にばらつきが生じるため、苦情が無くなることはないと思うが、ご意見のような、音更の除雪は良いという声が続くよう努めていきたい。	土木課
6	目標指標について		・目標指標の(2)国道、道道の整備促進及び、(3)町道の整備促進、維持補修の3段目の、「道路の整備・管理」に対する満足度の中間数値について、H26の町民アンケートの数値に変更し、それに基づきH32の目標数値を見直したい。	それぞれの表内の中間数値、H27、73.0%を、H26に実施したアンケートの数値として、当初数値より下がってしまうが、年度をH26、中間数値を68.6%に修正する。 アンケートは、H24、H25にも行っているが、その満足度は、当初の70.3%から、H24、68.5%、H25、65.2%と下がり、H26に68.6%に上がっている。道路整備は推進していくが、一方で老朽化が進む実態もあることから、H32の目標数値を75%に修正する。	土木課

■総合計画審議会専門部会での意見等対応調書

章	2 住み良さと自然が共生するまち				
節	(3) 快適な生活基盤				
分野	②河川				
専門部会名	生活基盤部会				
No.	該当箇所	委員名	意見等の内容	意見等への対応案	担当課
1	目標指標	藤沼委員 (7/3)	・目標指標はないのか。	<p>【7/3専門部会での回答】</p> <p>・目標を無理やり作ってもどうかというところがあり、設定していない。</p> <p>⇒国、道が管理する1級、2級河川は18河川あるが、改修はほぼ終わっており、町が管理する準用河川、普通河川の83河川については、計画期間中に主だった事業がないため、目標設定をしていなかった。</p> <p>あえて設定するのであれば、普通河川と農業サイドの明許排水路が重複していることから、経済部会の所管となるが、農業[生産基盤や生産環境]の分野で目標指標としている「明渠排水路の整備延長」を目標としてはどうかと考えている。</p>	土木課

■総合計画審議会専門部会での意見等対応調書

章	2 住み良さと自然が共生するまち				
節	(3) 快適な生活基盤				
分野	③公園、緑地				
専門部会名	生活基盤部会				
No.	該当箇所	委員名	意見等の内容	意見等への対応案	担当課
1	公園について	東端委員 (7/3)	・ワークショップを行って整備された公園が何箇所かあると思うが、満足度はどうなのか。	【7/3専門部会での回答】 ・ワークショップをやったことによる満足度の検証はない。その後の考察については費用等も伴うので、今後どのように展開していくのかはこれからの課題であると思っている。 ⇒ご意見を踏まえ、ワークショップをやったことによる直接的な満足度の検証はないが、目標指標の(1)公園緑地の整備、維持管理の1段目の「都市環境や都市基盤の整備についての公園や緑地の整備、管理に対する町民の満足度」の中で検証することとしたい。	都市計画課
2	公園について	東端委員 (7/3)	・高齢化が進んでいく中で、町内会や老人会が、今後どれだけ活動に協力していけるかというのもありるので、未来に向けて子どもを取り込んだ活動、考え方をしてもよいのでは。	【7/3専門部会での回答】 ・作る公園の目的にもよるが、子どもの意見も取り入れていくべきと思うので、ワークショップには参加してもらおうようにしている。この計画の中から読み取るとすれば、施策(3)①子どもから高齢者の意見を広く取り入れるために幅広い範囲のワークショップをやるということかなと思う。 ⇒回答に変更はないが、子供を取り込んだ活動については、公園内樹木の更新の植樹を町内会で、ゴミ拾いなどを小学生が自主的に実施したところもある。樹木更新の植樹などの子供が参加しやすい事業については、町内会を通じて子供会へ呼びかけてもらうよう進めたいと考える。	都市計画課
3	公園について	鬼塚委員 (7/27)	・公園全般について、古いものを良くしようとしているのか新しいものを作ろうとしているのかその辺は分からないが、最初は子どもの意見を聞いても、そのまちが老人化することもある。ニーズを調べるのも良いが、統廃合というものを図っていかないと、ただ作ったということで終わってしまうのではないかと。時代のニーズなどに応じて変化させることも必要だと思う。	【7/27専門部会での回答】 ・整備の際には、町内にある小さな公園は、昔は児童公園と呼ばれていたことから、主に子ども向けの公園整備を行っていたが、現在は街区公園と呼び方も変わってきていることから、子どもだけでなくお年寄りにも向けた公園と位置付けて整備を行っている。 昨年整備したIC工業団地内の街区公園では、健康遊具を設置するなど、ニーズに合わせて変わりつつあり、そのようなこともワークショップ等でご意見いただきながら対応したい。 ⇒近年は新設の公園整備というよりは、既存公園の長寿化を目的として、老朽化した遊具等の更新整備を主に行っている。 なお、公園種別により誘致範囲が決まっていることから、公園の統廃合は考えていない。	都市計画課

■総合計画審議会専門部会での意見等対応調書

章	2 住み良さと自然が共生するまち				
節	(3) 快適な生活基盤				
分野	③公園、緑地				
専門部会名	生活基盤部会				
4	<p>施策(2)町民との協働による緑化、公園の維持管理 施策(3)多面的な利用に基づいた公園の整備</p>	<p>赤嶺部会長代理 (7/3)</p>	<p>・ワークショップの成果を検証することが必要。ワークショップに関わったことで、維持管理に関わろうという意思を持つ人が出てくるので、そういったことも関連付けてやっていく必要があるのではないか。</p>	<p>【7/3専門部会での回答】 ・ご意見として承る。 ⇒1番目のご意見へと同様の回答になるが、ワークショップの成果の検証は困難と考えており、アンケートによる「整備、管理の満足度」を上げることで、維持管理にかかわる意識も増えることと考える。</p>	<p>土木課</p>
5	<p>目標指標について</p>		<p>・(1)公園・緑地の整備、維持管理の表内の1段目の中間数値を、町民アンケートの満足度の数値に変更したい。</p>	<p>・H26に実施している町民アンケートの数値に修正する。当初数値84.4%より下がるが、中間数値86.0%を78.5%に、年度H27をH26に修正する。 なお、H32の87.0%は、目標数値として修正しない。</p>	<p>土木課</p>

■総合計画審議会専門部会での意見等対応調書

章	2 住み良さと自然が共生するまち				
節	(3) 快適な生活基盤				
分野	⑤住宅、宅地				
専門部会名	生活基盤部会				
No.	該当箇所	委員名	意見等の内容	意見等への対応案	担当課
1	施策(2)公営住宅の整備、維持管理③	赤嶺委員 (7/3)	・子育て世帯向け民間賃貸住宅について、子育て世帯向けに限定した理由は。	【7/3専門部会での回答】 ・すべての子育て世帯が公営住宅に入れる状況ではなく、子どもの数によっては狭いという声もある。その中で、高齢者が使っていた一戸建てで、子ども達が独立して高齢者だけになってしまった、高齢者も施設に入るようになった、というような経緯で空き家になる広い住宅を、希望している子育て世帯に何とか貸すことはできないだろうか、そんな発想から子育て世帯を応援するために限定している。去年6戸の住宅に入居してもらったが、一戸建ての登録が進まない状況。貸してまで使っていただくところまでに至らない住宅もあるように聞いている。制度を普及させる上でその辺りを理解していただきながら利用件数を増やしていきたいと考えている。 ⇒上記回答に追加・変更等なし。	建築住宅課
2	施策(2)公営住宅の整備、維持管理③	藤沼委員 (7/3)	・民間住宅を活用した支援補助事業、人口対策として面白いと思うので興味があったが、これは、入りたいという要望に対して全然足りない状況か。	【7/3専門部会での回答】 ・昨年登録した住宅は13戸。実際住宅を見て、古い、狭いというようなことや、公営住宅と比べると家賃補助を受けたとしても持ち出しが多く、公営住宅をもう少し待ちたいということで、希望者はいるが、それにマッチする住宅がなかなか見つからない状況。 ⇒回答に変更はないが、今後実施する空き家の実態調査により、子育て世帯向け家賃補助住宅として活用できそうな住宅について、所有者の理解を得ながら、登録を促していきたい。	建築住宅課
3	〈現状と課題〉4番目	宇佐美委員 (7/3)	・空き家対策につきると思う。	【7/3専門部会での回答】 ・空き家に関しては、どちらかというところ利活用に重きを置いて、空き家バンクを活用して、空き家の利活用の促進を図る。 ⇒今後、重要な事項となることから、施策(5)「空き家・空き地の有効活用」を新たに追加し、施策の主な内容を「①空き家・空き地の現状を把握し、利用可能な空き家・空き地の有効活用を図ります。」とし、(5)目標指標として、(1)から「空き地情報の公開件数」、「空き家情報の公開件数」を移動し、さらに、新たな目標指標として「住宅・土地統計調査による空き家率」を追加する。	建築住宅課

■総合計画審議会専門部会での意見等対応調書

章	2 住み良さと自然が共生するまち				
節	(3) 快適な生活基盤				
分野	⑥地籍調査				
専門部会名	生活基盤部会				
No.	該当箇所	委員名	意見等の内容	意見等への対応案	担当課
			※特になし		

■総合計画審議会専門部会での意見等対応調書

章	2 住み良さと自然が共生するまち				
節	(3) 快適な生活基盤				
分野	⑦水道				
専門部会名	生活基盤部会				
No.	該当箇所	委員名	意見等の内容	意見等への対応案	担当課
1	<現状と課題>2番目	藤沼委員 (7/3)	・現状と課題で「農村部」という言葉を「簡易水道区域」に変えていて、施策の記述では「農村部」という文言が残っているがどうか。	【7/3専門部会での回答】 ・普及率に関しては、農村部は簡易水道区域ということで水道区域になっているので、いわゆる農村地域の水道を確実に整備していくということで、農村部という言い方をあえてしている。農村部がすべて簡易水道区域になっているわけではないという押さえでお願いしたい。 ⇒(補足)農村部においては、上水道と簡易水道の区域が存在することから、水道区域での記述ではなく、農村部という記述としている。	上下水道

■総合計画審議会専門部会での意見等対応調書

章	2 住み良さと自然が共生するまち				
節	(3) 快適な生活基盤				
分野	⑧下水道、排水処理				
専門部会名	生活基盤部会				
No.	該当箇所	委員名	意見等の内容	意見等への対応案	担当課
1	〈現状と課題〉4番目	大淵委員 (7/3)	・雨水の整備率とは、雨水管の整備率か？	【7/3専門部会での回答】 ・雨水管の整備率である。表記を改める。 ⇒上記回答に追加・変更等なし。	上下水道課